

第2学年 生活科学学習指導案

日 時 平成24年10月17日(水)
児 童 男子6名 女子9名 計15名
指導者 佐藤 紀和子
場 所 生活科教室

1 単元名 「ハートをつなごう」

2 単元を設定するにあたって

(1) 単元について

本教材は、学習指導要領の内容(3)「自分たちの生活は、地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。」(4)「公共物や公共施設を利用し、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切にし、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。」(5)「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることや気付き、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。」(8)「自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々とかかわることの楽しさが分かり、進んで交流できるようにする」を受けて設定したものである。

生活科の学習は繰り返しが重要であるとされる。活動を繰り返したり対象とのかかわりが深まったりするのに伴って、気付きが質的に高まっていくからである。身近な人々や場所と関わる活動を繰り返し行い、活動を通して地域がより一層身近になることが大切である。児童は1学期のまち探検で身近な地域の場所を探検し、そこで生活したり働いている人々と出会ったり接したりしてきている。

本単元の探検では、前回とは異なった視点で探検することになる。これまでの探検を通して新たに生まれた児童の思いを整理しながら、さらに明確な目的意識をもって地域にかかわっていきけるような活動を設定する。そして、身近な人々との関わり合いを通して、地域に対する視野を広げ、愛着を深めていきたいと考える。

(2) 児童の実態

本学級の児童のほとんどの家は祖父母が農業を行い、両親は共働きである。買い物は、宮城県のスーパーマーケットや量販店に行くことが多く、永井地域に住んでいながら、どこにどんな店があるのか知らない児童もいる。

児童は、1学期に「まちはたからばこ」の単元で、地域の自然や商店などを探検し、地域のよさや生活の関わりについて関心をもったり、探検から得た「お店のひみつ」を、絵や文等で表し、友達と交流した。さらに1年生に寸劇や紙芝居にして伝える学習を行ってきた。

探検には意欲的に取り組んでおり、前単元の「図書館のひみつをみつけよう」では、公共の交通機関を利用しながら図書館を探検し、公共物や施設の使い方を知り、正しく利用することで、自分たちの生活を豊かにしてくれるものがあることを理解し、そこで働いている人々と関わる活動を行

ってきている。

まだ、自分の思いや考えをうまく伝えられない児童もいるので、国語科との関連を図りながらペアやグループ学習で自分の考えを述べたり伝えたりすることを取り入れてきた。言語能力には個人差があるが、絵や動作は好んで行うので絵の説明をしたり動作に言葉を入れて表現するようにさせている。

(3) 指導にあたって

「出会う」段階では、1学期の探検を思い起こし、もう一度会いたい人やもっと見たいこと・聞きたいことを話し合い、まち探検の計画につながるようにする。

「かかわる」段階ではまち探検に行く目的を、仕事をじっくり見ることで、工夫や努力について、発見したり、聞き取ることができるようにする。さらに、仕事の一部を体験したり、手伝ったりすることを通して仕事の大変さや喜び、そこで働く人の思いなどを探検カードにメモする。そして、発見したことや体験したカードをもとに、「しごとのひみつ」として伝え合う計画を立てさせる。

「深める」段階では、「しごとのひみつ」を、その人の仕事内容、努力や工夫、喜び、仕事に対する思いなどをグループで表現方法を考えて発表し合う。活動で得られた様々な気付きの質をさらに高めるために1回目の探検との比較をしたり、関連付けたりしながら話し合いをさせていく。そうすることで、お互いの発表から今まで知らなかったまちのよさに気付き、地域への愛着をもつことができるようにさせたい。最後に、お世話になった人たちに感謝の気持ちを伝える方法を考え、再度発表会を開いたり手紙を書いて届けたりさせたい。

3 単元の目標

単元目標	①地域の、自然や施設、様々な人たちについて、もっと知りたいという気持ちを持ち、さらに詳しく調べたり仕事を体験したりする活動を通して、まちへの愛着をいっそう深め、社会の一員として、自分の役割や行動の仕方を考えることができるようにする。 ②体験を通してわかったり、考えたりしたことを、友達や家族、地域の人々に伝えることを通して相互に交流する楽しさや良さがわかり、自分の考えを深めたり新しい発見をしたりすることができるようにする。
評価規準	【関心・意欲・態度】 ・地域の人たちにすすんであいさつをするなど親しくかかわったり、地域の自然を大事にしたりするとともに、きまりや規則を守って地域での生活をしようとしている。 ・学習を通してわかったことを友達や地域の人など、身近な人々と伝え合うことに感心を持ち、交流しようとする。 【思考・表現】 ・探検を通して感じたことや思ったことを地域の人に伝える方法を考えたり、まちで見つけたことや体験してきたことを振り返って、工夫して適切に表現したりしている。 【気付き】 ・地域のさまざまな人たちや自然、施設などは、自分たちの生活とつながりがあり、深くかかわっていることに気付いている。

10	をまとめよう	4	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で見つけた「しごとのひみつ」を書いた探検カードを発表し合い、発表方法を考える。 ・発表内容と自分の役割を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知らせたい内容やどのような発表にするか考えている。 <p>【思→活動の様子】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな方法があることを教える。写真の併用も
深 め る	しごとのひみつをしようかいしよう	本 時 1	<ul style="list-style-type: none"> ・探検で聞いたこと見たこと体験したことを「しごとのひみつ」として発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事の内容、努力や工夫、喜び、など仕事に対する思いを見たり、聞いたり、体験したことを通して分かりやすい発表をしている。 <p>【思→発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験した仕事の難しさ、大変さ、その仕事に携わる人の苦労や努力について気付いている。 <p>【気→発表・カード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちが相手に伝わることのうれしさに気付いている。 <p>【気→活動の様子を】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の探検カードを見たり、発表を思い出したりしながら考えるようにする。 ・発表の仕方のよいところにも触れるようにさせる。
	ハートをつたえよう	3	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙や招待状を書きお世話になった方々を招待して発表会を開き、感謝の気持ちを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちが相手に伝わることのうれしさに気付いている。 <p>【気→活動の様子を】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで発表したのをもとに、感謝の気持ちを入れながら表現させる。
	みつけたよあこがれのしごと	1	<ul style="list-style-type: none"> ・町にはさまざまな仕事をしている人がいることに気付くとともに自分もあこがれの仕事につきたいという気持ちを持つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちには、探検で見つけたほかにも多くの仕事があることに気付いている。 <p>【気→発表】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな仕事を知っているのか、してみたい仕事は何か聞く。

5 本時の学習活動（15/18）

（1）本時の活動と子ども

- ・じっくり見たことや体験したことを仕事の内容、苦労や工夫、仕事に対する思いを表現方法を工夫しながら協力して発表するようにさせる。
- ・各グループの伝えようとしている「しごとのひみつ」や、発表の仕方の工夫や頑張りをとらえ、気付きを全体に紹介しながら、教師が関連付け、意味づけることで、気付きの共有化を図ることができるようにする。

（2）目標

- ・みんなに分かりやすく「しごとのひみつ」を伝えようとしている。 【関心・意欲・態度】

- ・みんなに伝えたいこと視点を明確にして発表することができる。【思考・表現】
- ・友達の発表から、お店の人の苦労や工夫、仕事に対する思いに気づく。【気づき】

(3) 仮説とのかかわりから

思いや気づきを伝え合い交流した後で、視点を明確にしたカード記入の場面を設けることで、交流から生まれた新たな気づきを表現させていきたい。(手立て1)

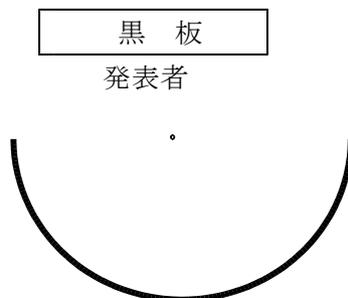
体験してきた仕事の発表やそれに対する質問や意見、感想等を出し合い交流する言語活動をすることによって、気づきを学級全体に広げ、気づきの質を高めていきたい。(手立て2)

(4) 展 開・評価規準

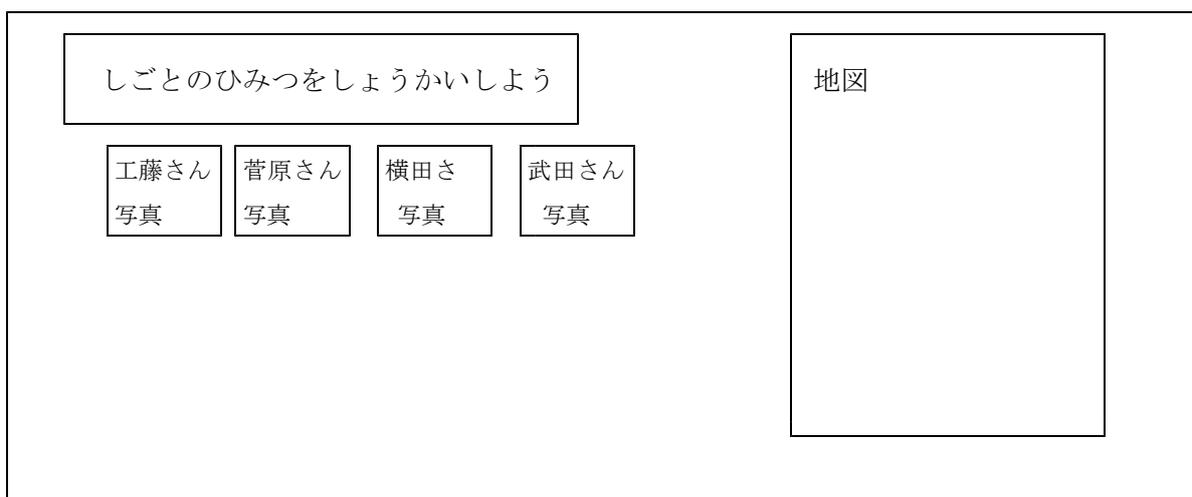
段階	学 習 活 動	準備資料	教師の支援 (・) と評価(○)
つ か む 5	1 ある人の写真を見てどこのだれか考える。 2 本時の学習課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">しごとのひみつをしょうかいしよう</div>	写真	・教師が撮ってきたある人の写真を見せる。 ○だれの写真か発表させ、それぞれどこの店のだれの写真か考えている。【関→発言】
ふ か め る 3 5	3 自分たちで考えた伝え方で、しごとのひみつを紹介しあう。 ① 工藤美容室の工藤さん ② すが虎商店菅原さん ③ ガソリンスタンドの横田さん ④ 公民館の武田さん ・紙芝居 ・寸劇 ・インタビュー形式 ・ペープサートなど ・お店の人の仕事を体験したり、手伝ったりしての感想も入れながら発表する。 ・1学期の探検と比べながら質問や感想を述べ合う。 ・苦労や喜び、仕事に対する思いなども話し合う。	地図 見つけたよカード 各グループの発表道具	・どこの場所にいる人か地図で知らせてから発表に入るようにさせる。 ・1 グループ3～4人とする。 ・みんなに知ってほしいことを分かりやすく伝えるためにどんな方法で表現するのか知らせてから発表させる。 ○仕事の内容、努力や工夫、喜び、など仕事に対する思いを見たり、聞いたり、体験したことを通して分かりやすい発表をしている。 【思→発表】 ・一つのグループ発表ごとに質問や感想をとる。 ○他のグループの発表を聞いて、話の内容から質問や感想を述べている。【思→発表】 ・1学期の探検カードを見たり、発表を思い出したりしながら考えるようにする。 ・発表の仕方のよいところにも触れるようにさせる。 ○体験した仕事の難しさ、大変さ、その仕事に携わる人の苦労や努力について気付いている。 【気→発表・カード】 ・カードに書いた気づきを全体に紹介し、関連付けることで気づきの共有化を図るよう
4	カードに感想をまとめ発表する。		

	<ul style="list-style-type: none"> ・すばらしい仕事ををしている人がいる自分たちの地域について思ったことや考えたことをまとめ発表する。 	ハートカード	<p>にする。</p> <p>○友達の発表を聞いて自分の地域や、そこで働いている人について思ったことや考えたことをカードにまとめている。</p> <p>【思→発表・カード】</p>
まとめ る 5	<ul style="list-style-type: none"> 5活動を振り返り自己評価する。 ・本時の学習の感想を発表する。 	ふりかえりカード	<ul style="list-style-type: none"> ・誰がどのような仕事をしていたかとを教え合うことができたこと、新たにそのお店の苦労や工夫が分かったことを確認し、さらにお世話になった人に伝えることを知らせる。

6 場の設定 生活科室



7 板書計画



しごとのひみつをみつけよう 2年 名前

のしごとのひみつを見つけたよ

さんのしごと

どんなしごと

くろう

くふう

うれしいのは

<h3 style="text-align: center;">はっぴょうを聞こう</h3> <p>メモ</p> <p>1 くだらぶいようしつ^のしごと</p> <p>初めて知ったこと</p> <p>2 すがとらさん^のしごと</p> <p>聞いて思ったこと</p> <p>3 ガソリンスタンド^のしごと</p> <p>聞いて思ったこと</p> <p>4 しゅじさん^のしごと</p> <p>聞いて思ったこと</p>	<h3 style="text-align: center;">ハートカード</h3> <p>しごとのひみつを聞いて思ったことは、</p> <hr/> <hr/> <hr/> <p style="text-align: center;">学しゅうのふりかえり</p> <p>、</p>
--	--

しごとのひみつをみつけよう 2年 名前

をやったよ

やってみておもったこと
